

「4月も終盤！新しい環境には慣れたかな？」

生徒指導通心  
第2号

縁（えん）

妻ヶ丘中生徒指導部  
令和4年4月22日発行



日に日に温かさが増し…と思ったら雨で寒さに逆戻り。しかし、日中は「春？夏？」を思わせるような気候になってきたのは確かです。早くも、4月が終盤に差しかかりました。新しい生活環境には慣れましたか？

さて1年生、中学生としての約2週間が過ぎました。部活動でグラウンドに出ると、入部を済ませた1年生が元気よく挨拶をしてくれました。やる気に満ちあふれたすがすがしい表情に、思わず嬉しくなりました。そして2, 3年生、上級生として下級生の手本になっていますか。先日は、体育大会に向けての結団式が行われました。今年度から5月開催と時期が早まりましたが、1年生のよき手本として体育大会を盛り上げてくれると期待しています。

さあ、来週後半からはGW前半戦へ突入します。新しい環境になり、様々な行事やテストが続きました。疲れもあるかと思いますが、体調管理をしながら、週末を過ごして下さい。来週は、連休前の大切な一週間になりますね！

見えな

## 見えな何かに感謝する「心」



2, 3年生は、聞き覚えのある言葉ではないでしょうか。昨年この時期に、同じ通信を出していると思います。「見えな何か」と言われても…と言う声が聞こえてきそうです。

では、簡単に学校生活のことから考えてみましょう。

まず、皆さんが使う教室や特別教室、トイレ。自分が清掃担当ではないのに、綺麗(きれい)と感じたことはありませんか。というより、ほぼ毎日清掃が行われているので、綺麗なはず。給食も同じ。皆さんが自分で調理しているわけではありません。しかし、温かい給食が届きますね。

そして、写真にある校内の花の数々。誰が、いつ、どのように手入れをされているのでしょうか。実は、用務員の榎田さん(事務室にいらっしゃいます)が毎日手入れをされて、私たち

の心を和ませてくれているのです。知っていましたか？

このように、私たちの日常には「気づかないが、整(ととの)っている」ことがたくさんありますよね。全てのことを自分一人の手で成し遂げることは不可能です。であれば、見えな何かに感謝する「心」を育てることが大切ではないかと思うのです。この心が育てば、教室やトイレを簡単に汚さない、物を粗末に扱わない…もっと言えば、使う前に、使った後に、食べる前に、食べた後に「次のことや次の人のこと」を考える「心の余裕」が生まれるのではないのでしょうか。

見えな何かに感謝する。言葉に出せないこともあります。心の中で、そっとつぶやくことも大切ですね。通信を読み終わったらすぐ、自分の身の回りを見渡してみてください。おそらく、自分の手以外で「整っている所」が見つかるはず。



第76回体育大会のスローガンが決定しました！

Let's Try Together!

～ 仲間とともに輝く笑顔を ～

